

EFI-LP用タンク(WME) 部品取り外し手順書

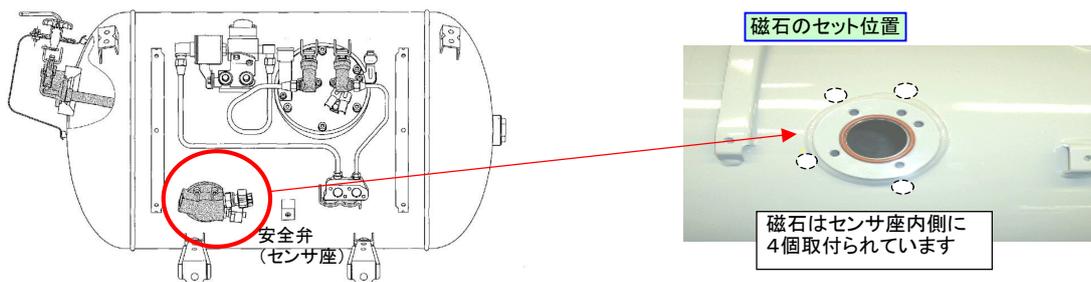
1	吸音材	胴部(鏡部)のマジックテープを外し、吸音材を取り外す。
2	リヤ ブラケット	リヤブラケットのボルト4本を外し、リヤブラケット2個を取り外す。 注)ダクトホースを傷つけないように取り外すこと
3	フロント ブラケット	フロントブラケットのボルト4本を外し、フロントブラケット2個を取り外す。
4	ダクト ホース	アンダーケース側のクランプホース2個をずらして、ダクトホースを取り外す。
5	ハンドル (赤)	ハンドルのボルト4本を外し、メイン/リターンバルブのハンドルASSSY(赤)とパッキンを取り外す。
6	パイプ カバー	フューエルタンクインレットのボルト2本を外し、パイプカバーを取り外す。
7	インレット パイプ	モンキーレンチでアダプタを固定し、フューエルタンクインレットパイプを取り外す。 注)本部品は左ねじ
8	アダプタ	アダプタを取り外す。 注)本部品は左ねじ
9	ハンドル (灰)	ハンドルのボルト2本を外し、充てんバルブのハンドルASSSY(灰)とパッキンを取り外す。
10	カバー ゲージ	カバーゲージのスクリュ4本を外し、カバーゲージを取り外す。
11		フューエルゲージのスクリュ及びコネクターを外し、カバーゲージを取り外す。
12	サイド ケース	サイドケースのボルト4本を外し、サイドケースを取り外す。
13	アンダー ケース	アンダーケースのボルト8本を外し、アンダーケースを取り外す。
14	コネクター ブラケット	安全弁のハーネスコネクター2個を外し、ソケットヘキサゴンレンチ(M6用)でポンプフランジに固定されているハーネスコネクターブラケット1個を取り外す。
15	フューエル チューブ	ユニオンナットレンチ(19mm)を用い、メインバルブからフューエルチューブを外す。
16		ユニオンナットレンチ(17mm)を用い、リターンバルブからフューエルチューブを外す。

EFI-LP用タンク(WME) 部品取り外し手順書

17		LPGIマーゼンシバルブのホルト2本を外す。
18	配管 ASSY	エルボのホルト2本を外す。
19		LPGIマーゼンシバルブ、フューエルチューブ及びハーネスのアッセンブリを取り外す。 注)ハーネスをポンプユニットのターミナル部から外さないこと
		タンク内の残ガス抜き作業
20	ポンプ	ソケットヘキサゴンレンチ(M8用)を用い、6本のホルトを外し、ポンプとO-ringを取り外す。 注1)取り外した後にポンプが損傷しないように直置きしないこと 注2)ハーネスを持って、ポンプを持ち上げないこと
21	バルブ フューエルチェック	バルブフューエルチェックをカップから取り外す。 注)ペンチ等で白色の樹脂の壁部分を挟み、引き抜くようにして取り外す
22	安全弁	ソケットヘキサゴンレンチ(M8用)を用い、4本のホルトを外し、安全弁とO-ringを取り外す。
23	過防弁	ソケットヘキサゴンレンチ(M8用)を用い、4本のホルトを外し、過防弁とO-ringを取り外す。
24	ゲージ	ソケットヘキサゴンレンチ(M8用)を用い、4本のホルトを外し、ゲージとガスケットを取り外す。
25	ドレン	封印ラベルを剥がし、ドレンキャップ(六角2面幅36mm)、ドレンプラグ(凹幅12mm)を取り外す。
		容器本体 耐圧試験 試験圧力:3.8MPa 専用フランジ(蓋)を使用下さい。

注) タンク内の底部に付けてある磁石4ヶは取り外さないでそのまま使用して下さい。

磁石の取付位置

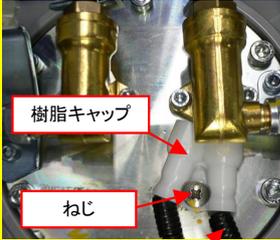


詳細はEFI-LP用タンク:WME容器作業要領書を確認願います

EFI-LP用タンク(WME) 部品取り付け手順書

1	ドレン	ドレンプラグを197N・m、ドレンキャップを98N・mで締め付け 封印ラベルを貼り付ける。
2	ゲージ	ガスケット・ゲージを取り付け、ボルト4本を17N・mで締め付ける。 注1) ガスケットはキット部品(新品)を使用すること 注2) ガスケット取付部に異物を混入させないこと 注3) シール部の塗装が剥がれた場合は、表面の塗装をきれいに取り除き 再塗装を実施すること *「作業要領書」ゲージの識別方法(刻印) 参照
3	過防弁	O-ring・過防弁を取り付け、ボルト4本を17N・mで締め付ける。 注1) O-ring・過防弁はキット部品(新品)を使用すること 注2) O-ring取付部に異物を混入させないこと 注3) シール部の塗装が剥がれた場合は、表面の塗装をきれいに取り除き 再塗装を実施すること 注4) 過防弁本体が座に接触しないように組み付けること *「作業要領書」過防弁の識別方法(刻印) 参照
4	安全弁	O-ring・安全弁を取り付け、ボルト4本を17N・mで締め付ける。 注1) O-ring・安全弁はキット部品(新品)を使用すること 注2) O-ring取付部に異物を混入させないこと 注3) シール部の塗装が剥がれた場合は、表面の塗装をきれいに取り除き 再塗装を実施すること *「作業要領書」安全弁の識別方法 参照
5	バルブ フューエルチェック	バルブフューエルチェック2個をカップに取り付ける。 注)バルブフューエルチェックはキット部品(新品)を使用すること
6	ポンプ	O-ring・ポンプを取り付け、ボルト6本を17N・mで対角に締め付ける。 注1) 指定のボルトを使用すること(過防弁用、安全弁用と異なります) 注2) O-ringはキット部品(新品)を使用すること 注3) O-ring取付部に異物を混入させないこと 注4) シール部の塗装が剥がれた場合は、表面の塗装をきれいに取り除き 再塗装を実施すること 注5) ハーネスを持って、ポンプを持ち上げないこと *「作業要領書」ポンプフランジの識別方法(スタンプ) 参照

EFI-LP用タンク(WME) 部品取り付け手順書

7	バルブ	<p>ポンプASSYを交換しない場合</p> <p>メイン/リターンバルブ(O-ring付き)を交換し、ボルト4本を8.5N・mで締め付ける。</p> <p>注1)メイン/リターンバルブ(O-ring付き)はキット部品(新品)を使用すること</p> <p>注2)O-ring取付部に異物を混入させないこと</p>
		<p>容器本体 気密試験 試験圧力:2.28MPa</p> <p>注1)取付部品とポンプフランジのハーネス結線部の気密を確認すること</p> <p>注2)ポンプフランジのハーネス結線部は、樹脂キャップ(白)を取り外すこと</p> <p>注3)ハーネス(ナット)を外さないこと</p> <p>注4)気密試験後に樹脂キャップを写真のように取り付けること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結線部の端子同士を接触させないこと ・ねじトルク 4N・m <p>ナットの緩み、端子同士の接触により、結線部が発熱しガス漏れを起こす恐れがあります</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>樹脂キャップ</p> <p>ねじ</p> <p>ハーネス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>樹脂キャップ取り外し状態</p> <p>ハーネスを外さずに結線部の気密を行って下さい</p> </div> </div>
8	フューエル	<p>メインバルブにフューエルチューブを仮締めする。</p> <p>リターンバルブにフューエルチューブを仮締めする。</p> <p>注)ハーネスは配管と容器の間を通すこと</p>
9	配管	LPGエマージェンシバルブアセンブリのボルト2本を5N・mで締め付ける。
10		エルボのボルト2本を5N・mで締め付ける。
11		<p>メイン側フューエルチューブを43N・mで締め付ける。</p> <p>リターン側フューエルチューブを23N・mで締め付ける。</p> <p>注1)チューブ締め付け時に配管と容器が干渉しないように8mm程度の隙間を設ける</p> <p>注2)チューブ接続部に異物を混入させないこと</p>
12	コネクター	<p>安全弁のハーネスコネクター2個を取り付ける。</p> <p>注1)ハーネスコネクター取付はカチッと音がするまで押し付けること</p> <p>注2)ハーネスは配管と容器の間を通すこと</p>

EFI-LP用タンク(WME) 部品取り付け手順書

13	コネクタ ブラケット	ポンプフランジにハーネスコネクタブラケットを取り付け、ボルト1本を12N・mで締め付ける。
14	ハーネス	ハーネスをチューブに組み付ける。
		配管接続部 気密試験 試験圧力:3.9MPa
15	ケース	アンダーケースを取り付け、ボルト8本を5N・m(ガスケットが沈む程度)で締め付ける。 注1)アンダーケースとハンドル用の穴位置を合わせること 注2)「分解作業要領書」の締め付け順序に基づき、ボルトを締めること
16	サイド ケース	サイドケースを取り付け、ボルト4本を5N・m(ガスケットが沈む程度)で締め付ける。 注)サイドケースとハンドル用の穴位置を合わせること
17	カバー ゲージ	計器座にカバーゲージ用ガスケットを取り付ける。 注)ガスケット取付部に異物を混入させないこと
		フューエルゲージにスクリュ及びコネクタを取り付け、カバーゲージを取り付ける。 注)端子が接触しないように取り付けること
		カバーゲージのスクリュ4本を3N・mで締め付ける。
18	ハンドル (灰)	サイドケースにパッキン・充てんハンドルASSY(灰)を取り付け ボルト2本を2N・mで締め付ける。
19	アダプタ	アダプタを充てんバルブに取り付け、73.5N・mで締め付ける。 注1)アダプタ先端のO-ringはキット部品(新品)を使用すること 注2)本部品は左ねじ
20	インレット パイプ	モンキーレンチでアダプタを固定し、フューエルタンクインレットパイプを37N・mで締め付ける。 注1)インレットパイプはサイドケース縦面に対して垂直に接続すること 注2)フレアナット接続部には異物等を混入させないこと 注3)必ずダブルスパナで接続のこと
21	パイプ カバー	パイプカバーを取り付け、ボルト2本を2N・mで締め付ける。 注)カバー取付部には異物等を混入させないこと
22	ハンドル (赤)	アンダーケースにパッキン・メイン/リターンハンドルASSY(赤)を取り付け ボルト4本を2N・mで締め付ける。

EFI-LP用タンク(WME) 部品取り付け手順書

23	ダクト ホース	ダクトホースを取り付け、クランプホースで固定する。 * 石鹼水の塗布を推奨します
24	フロント ブラケット	フロントブラケット2個を取り付け、ボルト4本を31N・mで締め付ける。
25	リヤ ブラケット	リヤブラケット2個を取り付け、ボルト4本を31N・mで締め付ける。 注) 左右のブラケット形状が異なるため、刻印(L/R)を確認し取り付けること
26	吸音材	胴部(鏡部)に吸音材を取り付け、マジックテープで固定する。 注) マジックテープはケースのボルト内側、ダクトホース上側を通すこと

詳細はEFI-LP用タンク:WME容器作業要領書を確認願います